

〈解答〉

- ① 1 〔例〕 大切だと思います (8字)
2 エ
3 ウ
4 〔例〕 積極的に使っていく (9字)
5 一 ③ 二 ②

配点 ①5は各1点、他は各2点 10点満点

〈解説〉

- ① 1 文中の主語「私は」に合うよう、述語を書き改める問題。「言葉の意味や使い方を身につけることが大切だ」という考えを、「私は」もっているのであるから、「私は……と思う」「私は……と考える」という主語・述語の関係を明確にした文にすればよい。ただし、文章全体が「敬体(です・ます調)」で書かれていることに注意する。
- 2 「配った(配る)」という動作の主体は、この文章の書き手である「私」なので、「配った」の部分謙譲語にする必要がある。謙譲語は「お……する」「ご……する」という形なので、エ「お配りした」が正解となる。ちなみに、「お……なる」の形をとった、ア「お配りになった」は尊敬語の表現である。
- 3 漢文の返り点には、直前の漢字に返って読む場合の「レ点」と、一字以上の漢字を隔てて上に返る場合の「一・二点」がある。今回は、「見」という漢字から二つ上にある「如」という漢字に返り、また、「如」という漢字から直前の「不」という漢字に返っていることを確かめた上で、「見」の左下に「一」、「如」の左下に「二」、「不」の左下に「レ」とあるものを選べばよい。
- 4 空欄④の少し後に、「『国語の勉強の仕方』については、言葉を使う意識を積極的にもつこと、そして、さまざまな言語活動に取り入れていくことが重要だ」「(言葉や知識を)すすんで活用していきましょう」とあることから、【発表原稿】を書いたともやさんが、言葉を積極的に使うことを提案し、みんなに推奨していることがわかる。
- 5 一は「違いはあるが、大差はなく、似たり寄ったりであること」を、二は「何度も人から聞くよりも実際に自分の目で見ることがまざっていること」を表している。